

- ・ やや似るサバンナオオトカゲ、イワオオトカゲは吻が短く丸みを帯び、頭の幅が広く、全体に頭が大きい印象を受ける。



頭は比較的小さく、吻端は尖る。



眼上板は分化するが、あまり強くはない。



鼻孔はやや目に近い。



尾はやや短い。



黒みがかった体色。

ヒガシベンガルオオトカゲ 〈黄色っぽいゴマ塩〉

学名：*Varanus nebulosus*

外国語名：Clouded Monitor, Bengal Monitor, Nebel-Waran

異名：クラウドドモニター、ベンガルモニター

原産地：中国南部、ベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、
ミャンマー東部および南部、マレー半島、スマトラ島、ジャワ島、
小スンダ列島

体長：最大全長 140cm±（頭胴長 54cm±）

類似種：ニシベンガルオオトカゲ

掲載種の原因国が日本に輸出するために発行した輸出許可数
(1975~2009年)：0 個体

①頭部の形態

- ・頭は小さく鼻先は尖っている。
- ・鼻孔はスリット（裂口）状で、吻端よりやや目に近く位置する。
- ・眼上板の幅広い部分はやや膨らんで見える。

②鱗の形態、尾の断面の形

- ・尾は著しく側扁する。
- ・尾はやや短く、尾率は1.3くらい。
- ・尾の中央部の鱗は、上下でほぼ等大で、環状に配列する（図4B）。
- ・頸板（うなじの鱗）は丸くて滑らかであり、キール（うね状の角ばり）はない。

③体色と模様

- ・全体に黄色っぽい（黄色い小点が多数生じる）。
- ・黒褐色、黄褐色、灰褐色の体色を持つ。
- ・頸部から尾にかけての背面に黄色っぽい点模様や虫食い模様があるものもいる。

① 類似種との比較

- ・かつてベンガルオオトカゲの亜種とされていたが、独立種として認められた。同時に、ワシントン条約の附属書Iに掲載された。
- ・ニシベンガルオオトカゲによく似ており、①②の特徴はニシベンガルオオトカゲと共通だが、全体的に黄色っぽく、また中央部の眼上板が幅広い点でニシベンガルオオトカゲと区別できる（図6B）。
- ・やや似るサバンナオオトカゲ、イワオオトカゲは吻が短く丸みを帯び、頭の幅が広く、全体に頭が大きい印象を受ける。



吻は尖る。ニシベンガルオオトカゲよりも黄色っぽく、特に頭が黄色みがかかる。



眼上板の中央部のものが幅広くなる（図 6B）。



頭は小さい。



鼻孔は吻端よりやや目に近い。

サバクオオトカゲ 〈バンドの間に黄色の円斑〉

学名：*Varanus griseus*

外国語名：Agra Lizard, Agra Monitor, Baghdad Small-grain Lizard, Desert Monitor; Grey Monitor, Caspian Monitor, Indian Desert Monitor, Wüstenwaran

異名：デザートモニター、グレーモニター、カスピアンモニター、インディアンデザートモニター

原産地：アフリカ大陸北西端（モロッコ）からインド北西部一帯

体長：最大全長 80~140cm±（頭胴長 33~62cm±）

類似種：ミズオオトカゲ、イワオオトカゲ、キイロオオトカゲ

掲載種の原因国が日本に輸出するために発行した輸出許可数
(1975~2009年)：9 個体

①頭部の形態

- ・頭はやや扁平で、吻端が少し尖る。
- ・砂漠で砂が入らないよう鼻孔は斜めのスリット状で、吻端より目に近い（図 5C）。

②鱗の形態、尾の断面の形

- ・頭部側面の鱗は円錐形でキールを欠く。
- ・尾の断面は、少なくとも前半では円形（図 3A）。
- ・尾端ではやや側扁する。
- ・尾率 1.0~1.5。

③体色と模様

- ・体は灰褐色で黒っぽい横帯があり、尾の黒帯は明瞭である。
- ・体の黒帯の間に淡褐色の丸い模様が入る。

④類似種との比較

- ・鼻孔が目の近くにあるサバンナオオトカゲ、イワオオトカゲなどは目から吻端にかけての上面が盛り上がり、サバクオオトカゲよりも丸顔に見える。
- ・キイロオオトカゲは尾が強く側扁する（図 3B）。